

北 技 技 第 号
平 成 年 月 日
北海道運輸局
自動車技術安全部長

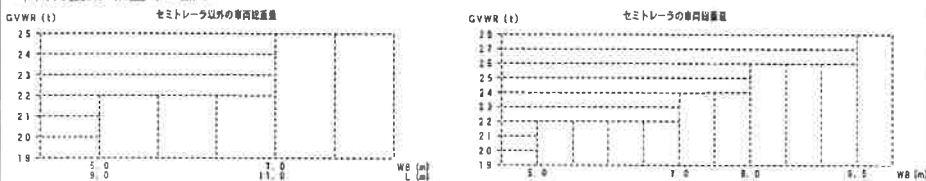
小平産業株式会社 殿
改造等概要説明書(改造自動車等審査結果通知書)

- (指示事項) 1. 本試作車両は、製造番号 KDL22Y-0001 ~ 0005 の5台とする。
2. 本車両は、車両総重量(分割可能な貨物)について保安基準の緩和を必要とする。
3. けん引車は、ニッサンディーゼル PKG-GK4XAB (第5輪荷重 9.5t)で検討した。
4. 車台番号は職権打刻を要する。

主要諸元比較表 (試作車 組立車)

項目	標準車	試作車	基準・限度	項目	標準車	試作車	基準・限度
車名	---	コダイラ	---	乗車定員人	---	---	---
型式	---	KDL22Y	---	最大積載量kg	---	19700	---
自動車の種別	---	普通	---	前前軸重	---	9340	≤10t (--- kg)
用途	---	(被けん引4輪) 貨物	---	前後軸重	---	---	≤10t (--- kg)
車体の形状	---	ダンプセミトレーラ	---	車両総重量	---	9490	≤10t (--- kg)
燃料の種類	---	---	---	前後軸重	---	---	---
原動機型式	---	---	---	後後軸重	---	9490	≤10t (--- kg)
長 さ	---	8.090 (6.920)	≤(12m)	計	---	28320	≤20t~28t (--- kg)
幅	---	2.490	≤2.5m	最大安定傾斜角度	---	42 ※1	一般 ≥35°
高 さ	---	3.495	≤3.8m	傾斜角度	---	42 ※1	その他 ≥30°
軸 距	---	4.100+1.300 =5.400	---	前前軸	---	---	(--- kg)
輪 距	前 輪	---	---	前後軸	---	---	(--- kg)
	後 輪	1.840	---	後前軸	---	11R22.5-14PR	(10000 kg)
室内又は荷台の内幅	長さ	7.300	---	後後軸	---	11R22.5-14PR	(10000 kg)
側 の 寸 法	高さ	2.200	---	前輪荷重	空車	---	≥18,20%
	前前軸重	0.800	---	割合	積車	---	---
	前後軸重	2410	---	リヤ・オーバーハング	m	1.330	≤1/2, 11/20, 2/2L (2.700 m)
車両重量	前前軸重	---	---	荷台オフセット	m	1.670	---
	前後軸重	3110	---	最小回転半径	m	6.9 ※1	≤12m
	後後軸重	3100	---				
	計	8620	---				

車両総重量・軸重等の基準



隣接軸距	1.8m未満	1.8m以上	1.3m以上1.8未満(1の車軸にかかる荷重が9.5t以下である場合)
隣接軸重	kg ≤ 18t	kg ≤ 20t	kg ≤ 19t

能力強度等検討書

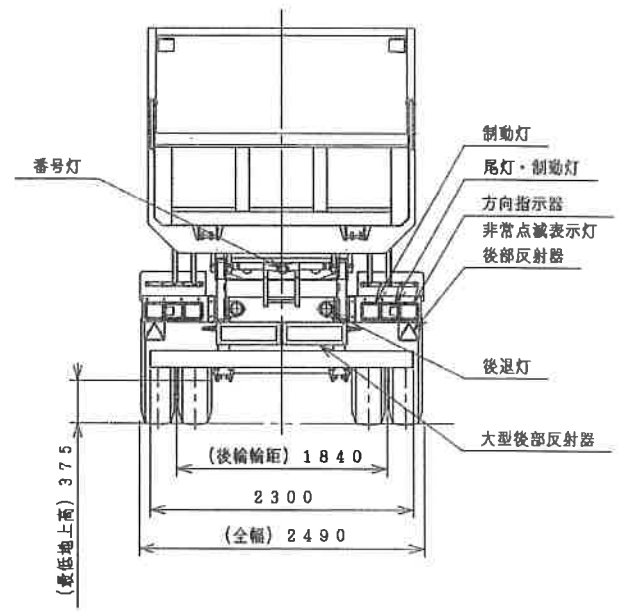
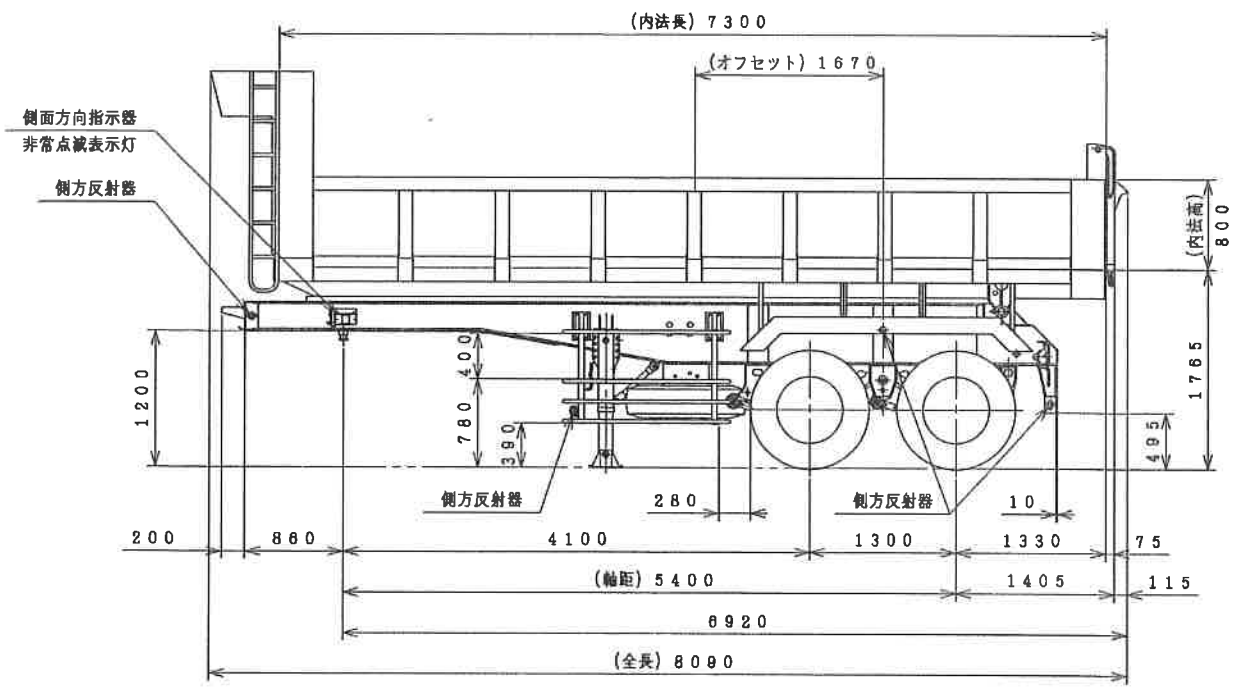
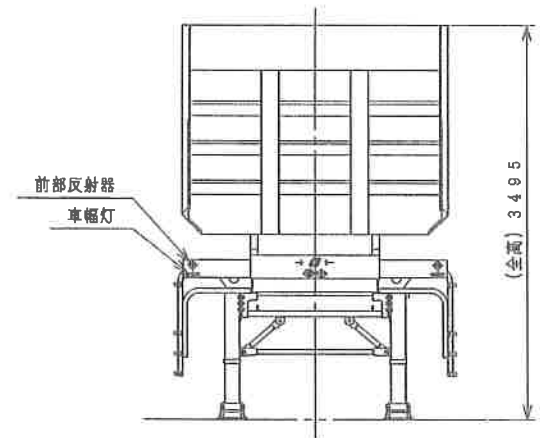
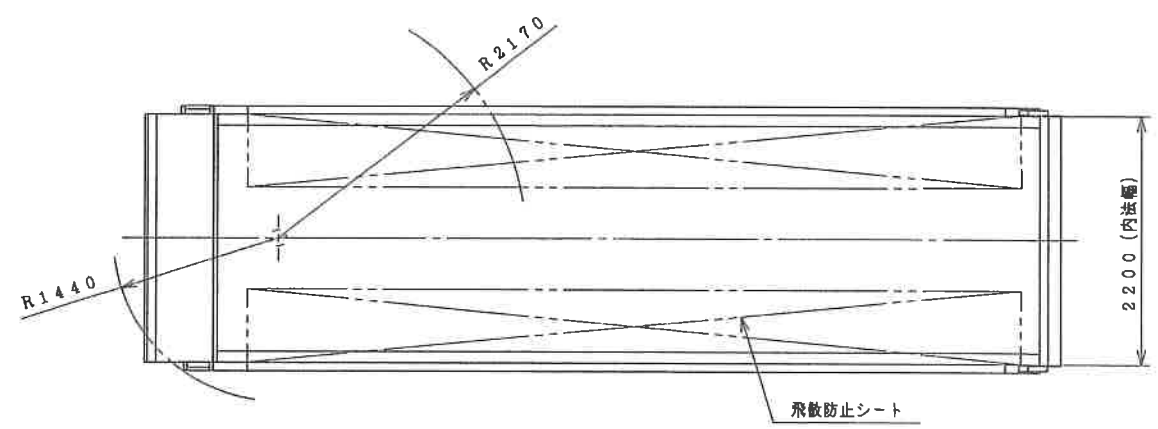
制 動 能 力	踏力 --- N 60 km/h 37.9 m	車 軸 強 度	σ_B/σ 686 / 233.68 = 2.93 ≥ 1.6
	空気圧 700 kPa	操 縦 装 置 強 度	σ_B/σ 490 / 233.68 = 2.09 ≥ 1.3
回 転 数	N_c/N_p --- / --- = --- ≥ 1.3	緩 衝 装 置 強 度	σ_B/σ --- / --- = --- ≥ 1.6
強 度	σ_B/τ --- / --- = --- ≥ 1.6	制 動 装 置 強 度	σ_B/σ 1520 / 875.78 = 1.73 ≥ 1.6
車 枠 強 度	σ_B/σ 490 / 141.70 = 3.45 ≥ 1.6	連 結 装 置 強 度	σ_B/σ 1370 / 875.78 = 1.56 ≥ 1.3
	σ_B/σ 325 / 141.70 = 2.29 ≥ 1.3		σ_B/σ 412 / 216.67 = 1.90 ≥ 1.6
			σ_B/σ 1100 / 389.32 = 2.82 ≥ 1.6

- 注1. 能力検討欄は、該当しないものは、省略したものは×を記入すること。
注2. 指示事項欄又は能力強度等検討書欄は、必要に応じて指示欄又は項目を追加・削除することができる。
注3. 現車審査の際は、通知書及び改造部分詳細図等の添付資料を提示すること。(9. (1)関係)
注4. ※1はニッサンディーゼル PKG-GK4XABとの連結時を示す。

改造等の概要

目 的	本車両は、分割可能な積載物品(土砂)の安全輸送を計るため、荷台の容積を大きくした(あおり型、固縛を前提にしないもの)ダンプセミトレーラとして新たに製作されるものです。
車枠及び車体	車枠はI型(高さ540mm×幅125mm×厚さ16mm(フランジ)×9mm(ウェーブ))でクロスマンバーには、C形高張力鋼材を用いた梯子形フレームです。前部下面にキングピンを、後部に走行装置を取付けています。
原 動 機	
動力伝達装置	
走行装置	車軸は株式会社ソーシンのトレーラ用車軸キットを使用しています。高張力鋼で、中空角型断面チューブの両端にスピンドルを溶接した構造です。タイヤ、11R22.5-14PRを2軸複輪で使用しています。アンチコASF280型セミトレーラ(23国自審 第201号、新型自動車番号 新16745号、類別002)と同一です。
操縦装置	
制 動 装 置	主制動装置は、空気圧内部拡張式リーディング・トレーリングとし、けん引車と連動して制動がかかります。又、走行中けん引車より分離した場合は、リレー・エマージェンシーバルブの作動に依り、自動的に制動がかかり、トレーラを停止させる構造です。駐車制動装置は、スプリングブレーキとしています。制動力制御装置には、WABCO社製のABSを使用しています。アンチコASF280型セミトレーラ(23国自審 第201号、新型自動車番号 新16745号、類別002)と同一です。
緩衝装置	半楕円重ね板ばねによる車軸懸架方式です。左右各2組のスプリングでメインフレーム後部に取付けられたスプリングブラケットを介して車体を支持しています。アンチコASF280型セミトレーラ(23国自審 第201号、新型自動車番号 新16745号、類別002)と同一です。
連結装置	JIS 17形(φ50.8mm)キングピン(材質JIS G4103 SNCM630)を使用しキックアッププレートに溶接取付けされ、けん引車の第5輪と連結されます。アンチコASF280型セミトレーラ(23国自審 第201号、新型自動車番号 新16745号、類別002)と同一です。
燃料装置	
電気装置	

- 注1: 変更のない事項については、斜線を記入又は網掛けを施すこと。
注2: 届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する責務があります。なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法(昭和26年6月1日法律第185号)に基づく勧告、命令を受ける場合があります。(第57条の2、第63条の2、第63条の3関係)



ユダイラ KDL22Y ダンプセミトレーラ外観四面図

型式：KDL22Y

車体番号：国[01]111841

重心高	:	1.370 m
主ブレーキ力	:	159157 N
エアタンク容量	:	108 L
エア配管容量	:	3 L
エアチャンバ容量	:	1.6 L
方向指示器ワット数	:	50 W